

2016年

9月▶10月の星空

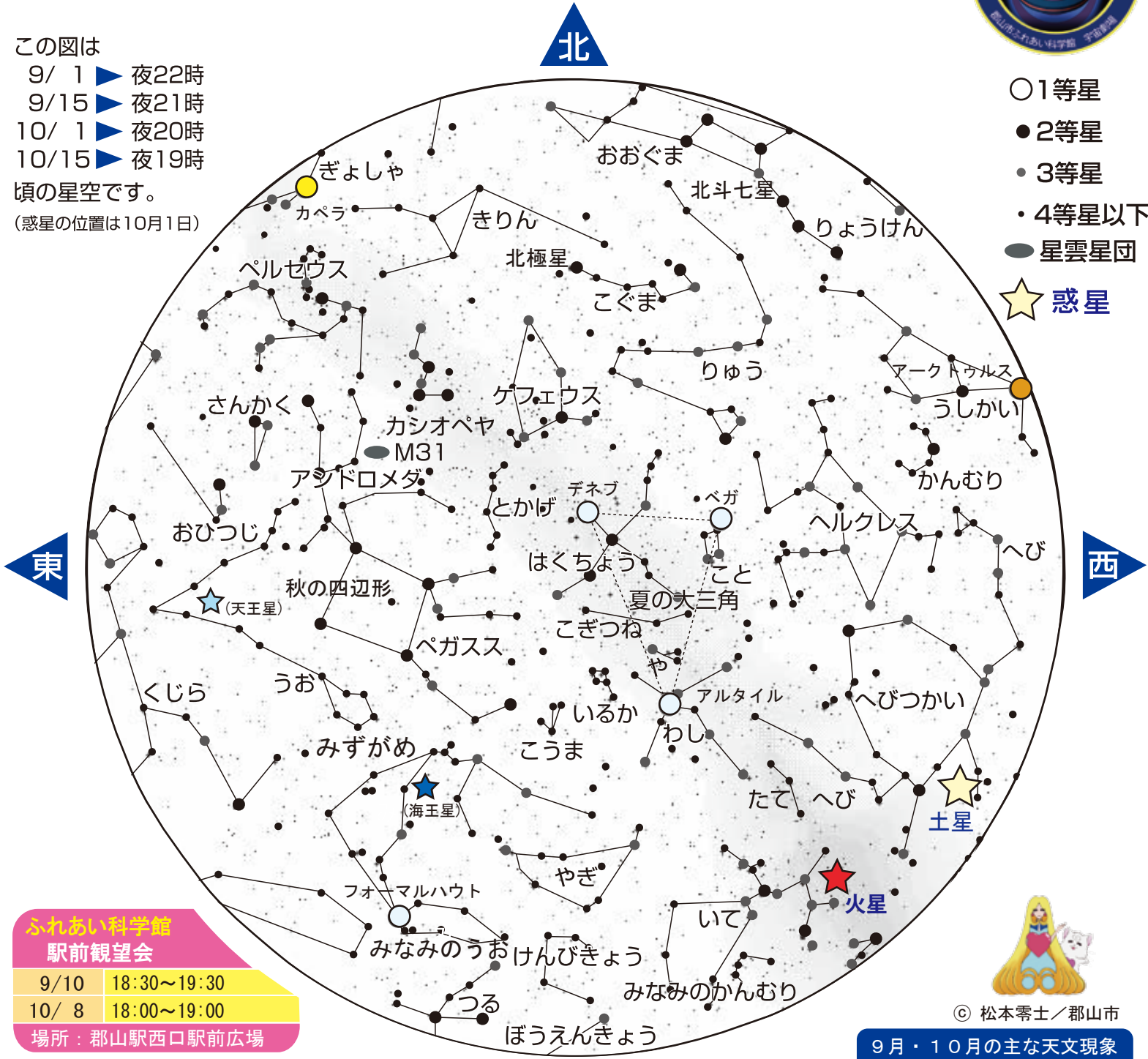


この図は

- 9/ 1 ▶ 夜22時
- 9/15 ▶ 夜21時
- 10/ 1 ▶ 夜20時
- 10/15 ▶ 夜19時

頃の星空です。
(惑星の位置は10月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★惑星



ふれあい科学館
駅前観望会

9/10	18:30~19:30
10/ 8	18:00~19:00

場所：郡山駅西口駅前広場

郡山の日の出・日の入		
9/ 1	5:09	18:08
9/15	5:20	17:47
10/ 1	5:34	17:22
10/15	5:46	17:02

月の満ち欠け		
新月	9/1, 10/1, 10/31	
上弦	9/ 9, 10/ 9	
満月	9/17, 10/16	
下弦	9/23, 10/23	

※上弦、下弦は半月です。
※天王星、海王星は肉眼では見えません。

9月・10月の主な天文現象	
9/15	中秋の名月
9/22	秋分の日
10/ 8	りゅう座流星群が極大
10/22	オリオン座流星群が極大



© 松本零士・郡山市

秋には昔からお月見が行われてきました。お月見は旧暦8月15日に行われます。今の暦では毎年その日は変わりますが、今年は9月15日です。この日の月を「中秋の名月」と呼びます。お月見というと満月を思い浮かべますが、実際には満月からずれることがあります。今年の「中秋の名月」は満月から2日前の月です。お月見の際にはススキやお団子、その年に収穫した枝豆や里芋などをお供えます。元々は月を眺めて歌を詠むなどしていたものが、収穫を祝う行事に変化したと言われていました。また、「十三夜」という旧暦9月13日にもう一度お月見を行う日本独特の風習もあります。今年の「十三夜」は10月13日です。二度のお月見ができると縁起が良いと言われるので、どちらの月もぜひご覧ください。

一方で星空は、やぎ座やみずがめ座、くじら座など、秋の星座たちが昇ってきています。特にペガサス座の胴体にあたる「秋の四辺形」は、西側の2つの星を結んだ線を南側へ伸ばすと1等星「フォーマルハウト」へたどりつくなど、秋の星を探す目印になります。星座を探すときにぜひご活用ください。秋の夜長に、昔から親しまれてきた名月や星空をお楽しみください。

